

【公報種別】特許法第 17 条の 2 の規定による補正の掲載  
 【部門区分】第 1 部門第 2 区分  
 【発行日】平成27年1月8日 (2015.1.8)

【公開番号】特開2013-146459(P2013-146459A)  
 【公開日】平成25年8月1日 (2013.8.1)  
 【年通号数】公開・登録公報2013-041  
 【出願番号】特願2012-10491(P2012-10491)  
 【国際特許分類】

A 6 1 F 13/49 (2006.01)

A 6 1 F 13/53 (2006.01)

A 6 1 F 13/15 (2006.01)

【F I】

A 4 1 B 13/02 D

A 4 1 B 13/02 S

【手続補正書】

【提出日】平成26年11月14日 (2014.11.14)

【手続補正 1】

【補正対象書類名】明細書

【補正対象項目名】0 0 4 5

【補正方法】変更

【補正の内容】

【0 0 4 5】

再び、図 7 及び 8 を参照すると、第 1 繊維ウェブ 8 1 は第 2 散布ステーション 8 6 を通過した後、第 1 シート 6 1 の基材となる第 2 繊維ウェブ 1 0 3 と合流してニップローラーと回転サクションドラム 8 4 とから構成されるプレスステーション 8 7 において互いにプレスされる。第 2 繊維ウェブ 1 0 3 の一方面には、塗布ステーション 8 8 においてホットメルト接着剤 1 0 7 が塗布されており、該ホットメルト接着剤 1 0 7 を介して第 1 繊維ウェブ 8 1 と第 2 繊維ウェブ 1 0 3 とが互いに接合されて、連続積層体 1 0 8 が形成される。連続積層体 1 0 8 は、搬送ロール 8 2 c , 8 2 d によって機械方向 M D へ搬送され、カットロール 1 0 9 とそれに対向配置されたアンビルロール 1 1 0 とから構成されたカットステーション 8 9 において切断することによって、複数の吸液層 3 7 が形成される。なお、第 1 散布ステーション 8 5 で散布される高吸水性ポリマー粒子 6 0 と粒径や吸収速度等が異なるものを第 2 散布ステーション 8 6 において散布することによって、2 種類の高吸水性ポリマー粒子 6 0 を積層した吸液性コアを成形することもできる。

【手続補正 2】

【補正対象書類名】明細書

【補正対象項目名】0 0 4 7

【補正方法】変更

【補正の内容】

【0 0 4 7】

< 第 3 実施形態 >

図 1 1 及び図 1 2 を参照して、以下において、第 1 実施形態と相違する点についてのみ説明すると、本実施形態において、吸液構造体 1 5 上には、縦方向 Y へ延びる略矩形状の吸収性パッド 1 1 4 が配置されている。吸収性パッド 1 1 4 は、吸液層 3 7 よりも僅かに小さい幅寸法及び長さ寸法を有しており、高吸水性ポリマー粒子とフラッフパルプ等の高吸水性繊維とを混合して形成された吸液性コア 1 1 5 と、それを被包する各種公知の繊維不織布又はプラスチックシートから形成されたラップシート 1 1 6 とから構成されている。吸収性パッド 1 1 4 は、吸液層 3 7 と対向する面の中央部近傍において吸液層 3 7 に向か

って凸曲する凸曲部 117 を有し、該凸曲部 117 が身体側ライナ 38 を介して間接的に吸液層 37 の中央凹部 70 上に位置している。中央凹部 70 の位置する身体側ライナ 38 の肌対向面には、縦方向 Y へ所与寸法離間して配置された止着部 118a, 118b, 118c が設けられており、止着部 118a, 118b, 118c を介して吸収性パッド 114 が吸液構造体 15 に着脱可能に止着されている。吸収性パッド 114 は、その凸曲部 117 が吸液層 37 の中央凹部 70 に嵌り込んだ状態で止着されているので、吸収性パッド 114 は、それが平坦な形状を有する場合に比してより安定的に吸液層 37 に止着され得る。止着部 118a, 118b, 118c は、メカニカルファスナの複数のフックから形成されており、吸収性パッド 114 のラップシート 116 が繊維不織布から形成されている場合にはラップシート 116 に直接止着してもよいし、複数のループを有する、ラップシート 116 の外面に設けられた被止着部を介して止着してもよい。吸液構造体 15 が身体側ライナ 38 を有しない場合には、吸液層 37 上に位置する止着部 118a, 118b, 118c を介して直接吸液層 37 に吸収性パッド 114 を止着してもよい。止着部 118a, 118b, 118c は、吸収性パッド 114 が安定的に吸液構造体 15 に固定される限りにおいて、中央に位置する止着部 118a のみが配置されていてもよいし、吸収性パッド 114 の前後端縁間において一連に縦方向 Y へ延びていてもよいし、さらに、3 つ以上の複数の分割されていてもよい。

【手続補正 3】

【補正対象書類名】図面

【補正対象項目名】図 5

【補正方法】変更

【補正の内容】

【補正の内容】

【図 7】

